

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

■ 絵表示の意味

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

☞ 「してはいけないこと」を示します。

❗ 「しなければならないこと」を示します。

ⓘ 「注意していただきたいこと」を記載しています。

✎ 「お読みいただきたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警告	
❗	本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、本製品から電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
❗	本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、火傷しないように発熱していないことを十分確認したあとで、本製品から電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
☞	本製品を落としたり、ぶついたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、本製品から電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
☞	本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
☞	本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

注意

☞ 本製品を次のようなところには置かないでください。
 ・ 日のある自動車内、直射日光のあたるところ
 ・ 暖房器具の周辺など高温になる場所
 ・ 多湿なところ、結露をおこすところ
 ・ 平坦でないところ、振動が発生するところ
 ・ マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 ・ ほこりの多いところ

❗ 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

❗ 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■ 液晶について

注意

❗ ディスプレイが破損して液晶が手などに付いた場合は、せっけんなどで洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。

■ 電池について

注意

❗ 本製品には単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形マンガン乾電池、または単 3 形ニッケル水素 2 次電池を使用してください。

☞ 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■ お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

❗ シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻とカレンダー情報等をのせた標準電波を受信することで、自動的に正確な時刻を表示する機能をもった時計のことです。

標準電波 (JJY) とは

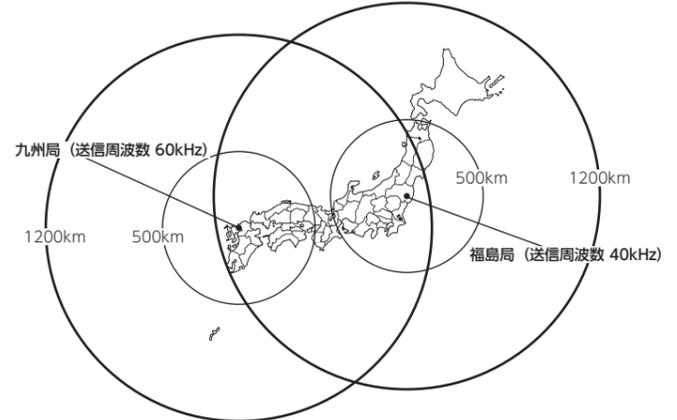
標準電波とは、情報通信研究機構が日本標準時 (JST) をお知らせするために運用している時刻情報ののせた電波です。

・ 標準電波の時刻情報は、およそ 10 年間に 1 秒の誤差という精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。
 ・ 標準電波は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境の「九州局:はがね山標準電波送信所」の 2 ヲ所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。

標準電波について詳しくは、「情報通信研究機構」の Web サイト [http://jjy.nict.go.jp] をご覧ください。

電波の受信範囲について

それぞれの送信所からの受信範囲はおおよそ 1200km です。ただし、受信範囲内であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候。置き場所、時計の向き、時間帯 (昼 / 夜) あるいは地形や建物などの影響など) により、受信できない場合があります。



本製品は、福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動的に選択して受信します。

❗ ・ 電波障害により誤った時刻を表示する場合があります。
 ・ 受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。

海外でのご使用について

✎ 本製品は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用した場合まれに日本の標準電波を日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について

✎ 送信所設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波が停止する場合があります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」の Web サイト [http://jjy.nict.go.jp] をご覧ください。

電波の受信しにくい環境

❗ 次のような場所では電波を受信できない場合や、誤った時刻を表示することがあります。

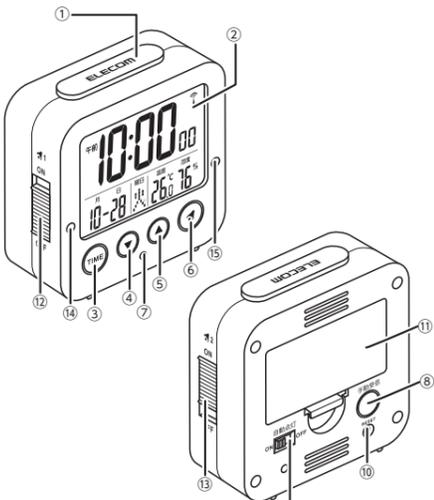
- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など、電波障害の起きる場所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、ビルの地下など
- 高压線、テレビ塔、電車の架線の近く
- 家電製品や OA 機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く
- 乗り物 (自動車、電車、飛行機など) の中

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- ・ 電波デジタル目覚まし時計.....1 台
- ・ 動作確認用単 3 形マンガン乾電池.....2 本
- ・ ユーザーズマニュアル (このマニュアルです)1 部

各部の名称とはたらき



ディスプレイ基本表示



① スヌーズ / 点灯スイッチ

- ・ アラーム鳴動時:アラーム音を止め、スヌーズ状態になります。
- ・ アラーム非鳴動時:ディスプレイが 5 秒間点灯します。

② ディスプレイ

日時、時刻、アラーム動作時間、温度 / 湿度、電波受信の状況などを表示します。自動点灯をオンにしておくと、周りの明るさによって自動的に点灯します。

③ 時計合わせボタン

日時、時刻の手動設定に使用します。

④ 戻るボタン / ⑤ 進むボタン

アラームの動作時刻の設定や、日時、時刻の手動設定に使用します。

⑥ アラームセットボタン

アラームの動作時刻の設定に使用します。

⑦ 照度センサー

周囲が暗くなるのを検出して、自動でバックライトを点灯します。

⑧ 手動受信ボタン

標準電波の手動受信に使用します。

⑨ 自動点灯スイッチ

ON 側にすると夜間など周囲が暗くなるのを照度センサーが感知して、自動的にディスプレイのバックライトが点灯します。

⑩ リセットボタン

電池を入れた直後、または静電気などで誤動作したときに使用します。リセット直後は、2010 年 1 月 1 日午前 12 : 00 に初期化されます。

⑪ 電池カバー

このカバーを取り外して、電池を入れます。

⑫ アラーム 1 スイッチ / ⑬ アラーム 2 スイッチ

ON 側にするとアラーム 1 またはアラーム 2 が設定されます。OFF 側にするとアラーム 1 またはアラーム 2 が解除されます。

⑭ アラーム 1 インジケータ / ⑮ アラーム 2 インジケータ

アラーム 1 またはアラーム 2 が ON に設定されると、赤色に変わります。

ディスプレイ

① 電波表示

標準電波受信中に点滅します。受信に成功すると点灯します。受信成功後、約 24 時間点灯します。

② 時刻表示

現在時刻を表示します。時刻は 12 時間制表示固定です。

③ 月日表示

現在月日を表示します。アラーム 1 を ON にするとアラーム 1 の設定時刻表示に変わります。

④ 曜日表示

現在曜日表示します。

⑤ 温度・湿度表示

内部のセンサーにより、温度と湿度を表示します。アラーム 2 を ON にするとアラーム 2 の設定時刻表示に変わります。

❗ 本製品は室内用です。室内の温度・湿度の計測以外の目的では使用できません。

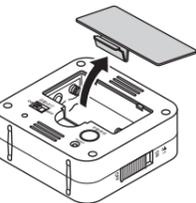
⑥ アラーム表示

アラーム 1 またはアラーム 2 設定中に点灯します。スヌーズ中は点滅します。

はじめて使用するときは

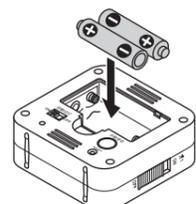
1 電池を入れる

① 電池カバーを取り外します。

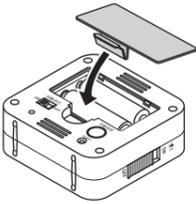


② 電池を入れます。

❗ 電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを正しく入れてください。

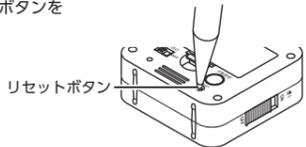


③ 電池カバーを元通りに取り付けます。



2 電波を受信して時刻を合わせる

① 先の尖ったものを使用してリセットボタンを 2 ~ 3 秒押し、離します。



② 標準電波の受信を開始します。

- ✎ ・ 窓際など電波を受信しやすいところに置いてください。
- ・ リセットボタンを押した直後は、[2010 年 1 月 1 日午前 12 : 00] に設定されます。

❗ 電波の受信中は、ボタンやスイッチには触れないでください。



標準電波受信 受信表示 点滅



受信表示 点灯

③ 正しく受信に成功すると、受信表示が点灯します。

- ✎ ・ 電波の受信には最大 5 分かかります。
- ・ 受信表示は受信成功後約 24 時間点灯します。
- ・ 受信に成功しても、ノイズなどにより誤った時刻を表示することがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押して、再度受信してください。



受信表示 点灯

❗ 電波の受信に失敗したときは受信終了後、受信表示が消灯した場合は、受信に失敗しています。表示されている時刻は正しくありません。



受信表示 消灯

アラームを使用する

1 アラーム時刻を設定する

- 1** (アラームセットボタン)を1回押します。

アラーム1設定表示になり、時刻が点滅します。

点滅後、5秒以内に操作してください。
5秒を過ぎると、基本画面に戻ります。



- 2** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用してアラーム1の時刻を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。



- 3** (アラームセットボタン)を1回押します。

アラーム1の設定が終わり、アラーム2設定表示になり、時刻が点滅します。



- 4** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用してアラーム2の時刻を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。



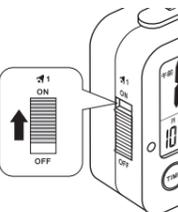
- 5** (アラームセットボタン)を1回押します。

アラーム2の設定が終わり、基本表示画面に戻ります。

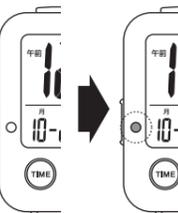


2 アラームをオンにする

- 1** アラーム1スイッチまたはアラーム2スイッチをON側にします。



- 2** アラーム表示が表示されるとともに、アラーム設定時刻表示になります。また、アラームインジケーターが赤色に変わります。



- 3** 設定した時刻になると、アラームが鳴ります。アラーム表示が点滅します。

アラーム音について
・アラーム音は、変更できません。
・アラーム音は時間の経過によって次のように変わります。
当初の10秒間 ピッ、ピッ・・・・・・
次の10秒間 ビビッ、ビビッ・・・・・・
次の10秒間 ビビビビッ、ビビビビッ・・・・
30秒以降2分まで ビビビビビビビビ・・



(スヌーズ/点灯)スイッチを押すと、アラーム音が止まり、スヌーズ状態になります。

「本製品のスヌーズ機能について」をお読みください。

アラームの設定を止めるには、アラーム1スイッチまたはアラーム2スイッチをOFF側にします。

本製品のスヌーズ機能について
アラーム音が鳴っているときに、(スヌーズ/点灯)スイッチを押すか、2分間アラームを鳴らし続けると、スヌーズ状態になります。スヌーズ状態のときは、アラーム表示が点滅します。
スヌーズ状態になってから、5分後にもう一度アラーム音が鳴ります。
スヌーズ状態を8回繰り返すと、アラーム待機状態に戻ります。



手動で時刻を合わせる

標準電波が受信できない場合や、受信に失敗したときなどは、一度手動で時刻をセットしたあと、電波状態のよくなる夜間に、朝までそのままにしておくとう受信できる確率が高くなります。

手動での時刻設定は次の手順で行います。

アラーム設定中は、手動での時刻合わせはできません。

- 1** (時刻合わせボタン)を3秒間押します。

手動時刻設定表示になり、年が点滅します。

点滅後、15秒以内に操作してください。
15秒を過ぎると、基本画面に戻ります。



- 2** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用して年を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。



- 3** (時刻合わせボタン)を1回押します。

月が点滅します。



- 4** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用して月を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。



- 5** (時刻合わせボタン)を1回押します。

日が点滅します。



- 6** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用して日を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。
曜日は設定した年月日に合わせて自動的に変更されます。



- 7** (時刻合わせボタン)を1回押します。

時が点滅します。



- 8** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用して時を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。



- 9** (時刻合わせボタン)を1回押します。

分が点滅します。



- 10** (戻るボタン)と(進むボタン)を使用して時を設定します。

ボタンを長押しすると、早送りになります。



- 11** (時刻合わせボタン)を1回押します。

手動での時刻合わせが完了し、基本画面に戻ります。

秒は(時刻合わせボタン)を押した段階で「00」からスタートします。



標準電波を手動受信する

場所を移動したときなど電波の受信をしたいときは、背面の(手動受信ボタン)を3秒間押します。

こんなときは

■標準電波を受信しない/表示される時間がおかしい

→昼間は電波状態が悪い場合があります。一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをしたあと、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

→電波の受信場所を窓際にしてみてください。また、本製品の正面または裏面が電波の送信所に向くように置き直してください。

■表示される時間がおかしい

→静電気の影響により正しい時刻を表示しなくなることがあります。リセットボタンを押してください。

■ディスプレイの表示が薄い、ディスプレイに表示されない

→電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「はじめて使用するときは」の「1 電池を入れる」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。

・本製品に付属の電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消耗していることがあります。

■温度表示、湿度表示がおかしい

→温度や湿度が以下の測定範囲を超えています。
温度：「HH」50℃より高温の場合 「LL」-9.9℃より低温の場合
湿度：「HH」95%を超えた場合 「LL」20%未満の場合
温度が5℃未満または50℃を超えると湿度は「--」と表示されます。

製品仕様

製品名	電波デジタル目覚まし時計
製品型番	CLK-DD001 シリーズ
時間精度	標準電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒以内 標準電波の受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
自動電波受信回数	1日4回
受信局	受信局：福島局、九州局自動選択
時刻表示	12時間制
カレンダー	西暦2010～2099年対応、月日
表示温度範囲	-9.9～50℃
表示湿度範囲	20～95%(周囲温度範囲5～50℃)
外形寸法	W81.0mm×D119.0mm×H41.2mm
動作温度/湿度	5℃～40℃/～90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度/湿度	-10℃～60℃/～90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単3形アルカリ乾電池、単3形マンガン乾電池、 単3形ニッケル水素2次電池
動作時間	マンガン乾電池使用時の目安 約1年

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL：0570-084-465 FAX：0570-050-012

【受付時間】

9:00～19:00 年中無休

各種機器との設定方法は
えれさぽで検索！

えれさぽ

検索



本製品は日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、お問い合わせには日本語によるサポートに限定させていただきます。

保証書について

本製品の保証書はパッケージの裏側にあります。キリトリ線に沿って切り取り、本マニュアル下部の保証書貼り付け位置に貼って、マニュアルと一緒に保管してください。

保証規定

■保証内容

1.弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

2.以下の場合には、保証対象外となります。
(1)保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
(2)保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(シート・納品書など)をご提示いただけない場合。
(3)保証書に偽造・改変などが認められた場合。
(4)弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5)弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6)通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
(7)本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
(8)地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9)その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

3.修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4.弊社修理センターへご送付いただく場合は送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5.同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
6.有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7.記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

8.本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9.本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

10.この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

電波デジタル目覚まし時計
CLK-DD001 シリーズ
ユーザーズマニュアル
2014年9月1日 第1版
エレコム株式会社

・本書の著作権は、エレコム株式会社所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

©2014 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.
CL01-M11

切り取った保証書を
こちらに糊やテープ等
貼り付けて保管して
ください。